

令和5年度
五島高校：図書委員会
5月8日作成
5月19日発行

Welcome to 五高 library

The door to the books

5月

図書委員制作担当

1-3
1-6
2-1

イラスト部制作担当

2-4
3-1

こんにちは、図書委員会です。

晴れ渡った空に、新緑の木々。すがすがしい季節になりました。
ゴールデンウィークも終わり高総体までラストスパートです!!
勉強と部活動で汗を流した後は、読書で気分転換してみませんか?
5月号は図書委員がスポーツ関連の本を紹介します。

感謝の心



本番で負けない脳
著者 善家 賢
出版社 新潮社

この本は試合中や試合前の考え方や脳の使い方がわかります。
例えば、試合前に勝てるだろうかとかゴールをゴールと思わずその先まで頑張るなど試合に必要な考えを学ぶことができます。もうすぐ高総体ですね。どの部活も高総体に向けて頑張っていると思います。メンタル面も鍛えて悔いのない試合ができるよう願っています。



セカンドウィンド 1
著者 川西 蘭
出版社 小学館

この本は、自転車競技部の物語です。自転車競技部というあまり見られない部活動ですが、私達と同じようにチームで切磋琢磨し合いながらハードな練習や様々な苦悩に立ち向かう姿勢が読みどころです。また個性的なキャラクターたちがいて最後まで飽きない本です。ぜひ手に取ってみてください。



名のないシシャ
著者 山田 悠介
出版社 角川文庫

人間の「死までの時間」がわかり、人間に生きられる時間を与えられる特別な力を持っている「シシャ」の物語です。
シシャの身体は成長せず周りの人間は成長していく中で、変化していく環境や心情の変化、シシャ同士の関係が面白いです。



Oxクイズ<スポーツ編>
つい誰かに出したいくなる
Oxクイズ777問②
著者 セブンワンダース
出版社 ごま書房

1. 野球のボールに縫い目があるのは変化球を投げやすくするため…×。
2. サッカーのピッチ。規則的には正方形でも構わない。…×
3. レスリングの試合では、女子もハンカチの携行が義務付けられている。…○

お守りあげちゃいます!!

図書館では「高総体特集」をしています。
図書館前に図書委員がたくさんのお守りを作りました。

- ① 図書館前の好きなお守りを1つ取る
- ② お守りの裏の番号と特設コーナーにある同じ番号の本を借りる
どんな本を手にするのか!?ワクワクします!
そして、本を開くと素敵なサプライズが!!
ぜひ、図書館に来てください。



ホケツ!

著者 小野寺史宜
出版社 祥伝社

高校サッカー部員の青春ストーリーです。
見どころは、タイトルの通り「ホケツ」のメンバーが主人公として描かれ、家族に「レギュラーで活躍している!」と見栄を張ってしまいます。家族の期待、一緒にやってきた友達、そしてサッカーが大好きな自分自身と初めて本気でぶつかります。
補欠は必要なのか?万年補欠の居場所を探し求めます。そして、最大のポイントは自分の存在価値に気づいていく所です。
ぜひ高総体では、チーム一丸となって楽しくプレイができることを祈っています。



DOUBLES!! -ダブルス-

著者 天沢夏月
出版社 メディアワークス文庫

テニスに青春をかける、二人の熱い夏が始まった!!
突然、ダブルスを組むことになったのですが、琢磨は天才肌と言えるが、性格は誰とでも協調することができない。駆は練習熱心だが、あるトラウマから人を信用できない。
最初っから喧嘩ばかりの凸凹コンビが、練習と敗北を重ねる中で徐々に成長し、絆を深めていきます。
好きなことって、不思議と嫌なことも苦しいこともトコトン前向きになれますよね。私も高校生活の中で、達成感を友達と味わいたいです。



おススメの新刊

思い出ごはん

著者 PHP研究所 編
出版社 PHP文芸文庫

1年生は今年からお弁当という人が大半だと思います。毎日食事を用意して下さる方に感謝しながら、いただきます!!

この本は作家や脚本家、デザイナーや料理研究家など、さまざまな分野の著名人たちが「忘れられないあの味」を思い出とともにつづった、全75編です。

受け継いでいきたい「母の味」から、くすっと笑える料理の失敗談、海外で味わった一皿など、登場するメニューは多種多様。日々のごはんを大切にしたいと思える一冊です。

「どの人の本を読もう?」と迷っている人は、著名人たちが一冊になっているアンソロジーから手を出してみるのもアリです。

将来について考えていますか?

どーすんの?私

著者 細川貂々[ホソカワテンテン]
出版社 小学館

著者の高校卒業直後のニート時代と、暗中模索の社会人一年生時代を描いたコミックエッセイです。意外な真実にびっくりですが、「ほんとうはさ、こんなじゃなくてもっと夢に溢れた仕事をさ...。」自問自答の等身大の姿がとても親しみやすい内容です。

なにをしたいのか解らない自分が、なにかを見つけていく。大切に書いた、書きたくて書いた作品という感じがします。

高校時代の私は自分に向き合うことが恐かったです...とあとがきにあります。

ほんの少し、わかります。

みなさんも応募しませんか?

新潮文庫第11回 中高生のための ワタシの一行大賞

“新潮文庫ワタシの一行大賞”は、新潮文庫の好きな一冊から、気になった「一行」を選び、その一行に関する「想い」や「エピソード」を記述する、新しいかたちの読書エッセイコンクールです。

興味のある人は、ぜひ図書館まで! 素敵な作品を待っています。

〈募集要項〉

- ・概要 対象図書の中から、あなたの心に深く残った「一行」を選び、なぜその一行を選んだのかを 100~400 文字で書いてください。住所・氏名・年齢・学校名・学年・電話番号、対象図書名と選んだ「一行」の掲載ページを別途必ず明記してください。
- ・対象図書 2023年「中学生に読んでほしい30冊」「高校生に読んでほしい50冊」「新潮文庫の100冊」選定作品
- ・締め切り 2023年10月2日
- ・商品 大賞:1名、優秀賞・佳作:数名に、賞状と図書カードを贈呈。